

## ～スクールカウンセラーからのお知らせ～

スクールカウンセラー（SC） 今野

朝晩、過ごしやすい日が多くなってきましたね。

今日は、子どもへの声かけについて考えてみたいと思います。

### 子どもへの声かけ ～「しっかり」がしっかり伝わるように～

A君を例に考えてみましょう。

A君は、そうじや片付けが大の苦手です。「自分のものくらい自分で管理できるようにならないと、大人になったらどうするんだろう・・・」と、お母さんはつい心配になってしまいます。

お母さん「しっかり片付けなさい！！」

A君 「はい」「できたよ」

お母さん「しっかりやれって言ったでしょ?!」「何度言ったらわかるの（怒）!!」

・・・このようなやりとりが毎日のように繰り返られるのでした。



「しっかり」とか「ちゃんと」といった言葉は、便利なのでよく使ってしまうがちですね。でも、こうしたあいまいな言葉は、うまく伝わっていないことも多いものです。A君の考える「しっかり片付けをした」状態と、お母さんの考える「しっかり片付けをした」という状態がずれていると、A君なりに掃除をしたつもりでも、もっと叱ってしまうことになってしまいます。

伝えたいことが「しっかり」伝わるように、あいまいな言葉をなるべく避け、具体的に言い換えてみると、子どもの行動が変わってくれることがあります。（例の場合、単に「片付けなさい」ではなく、「このゴミ袋がいっぱいになるように、要らないものを入れてね」など。）また、イラストや写真などを活用して片付いている状態を目に見える形で示したり、「今日は机の引き出しだけでいいから、まずそこだけは一緒に整理整頓してみようか」などと、範囲を限定したりしてみてもよいかもしれません。（やり方をわかっていないこともあり得るので、慣れるまでは「一緒に」というのも大切だったりします。）

お子さまへの対応でお困りのことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

